



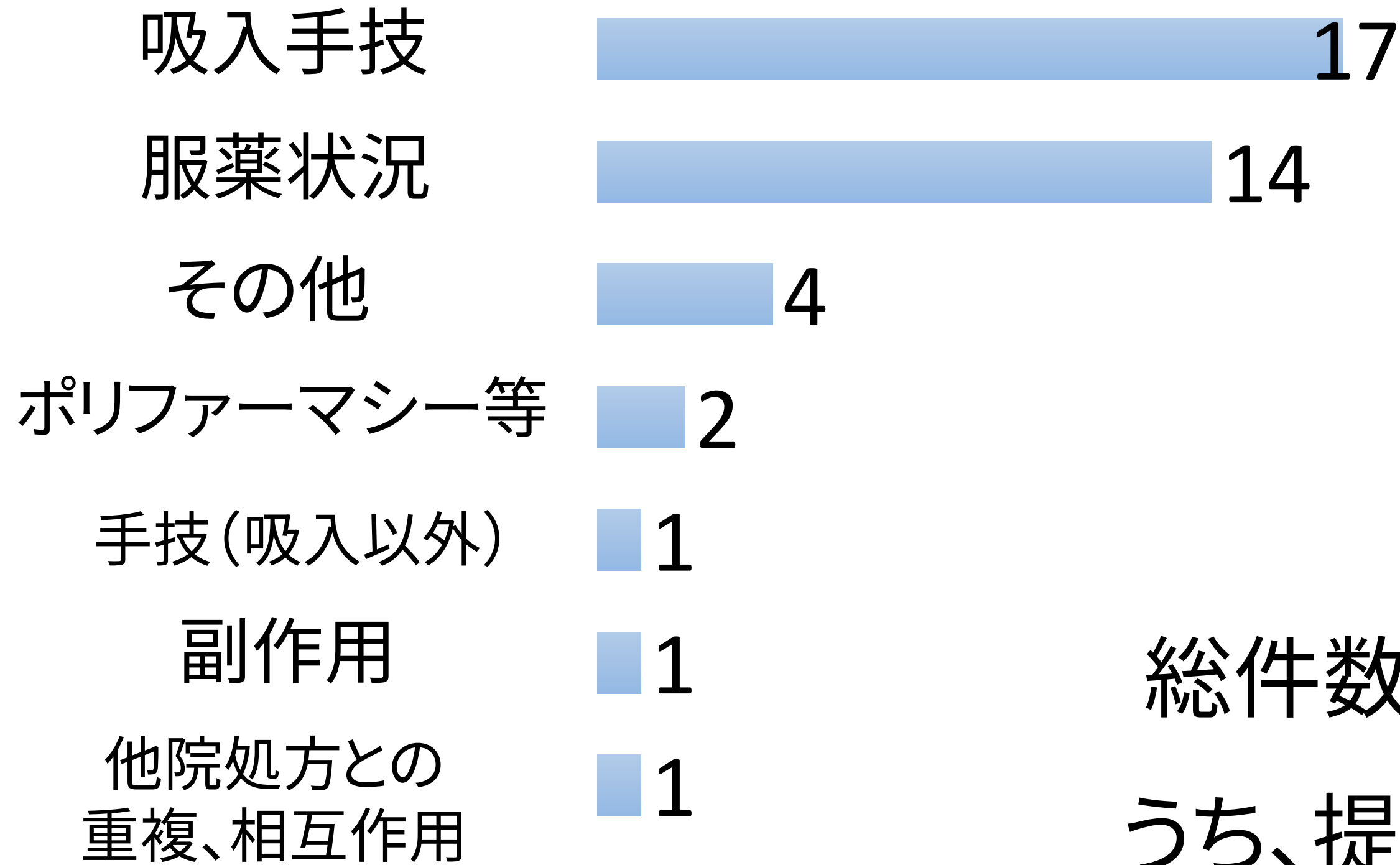
トレーニングレポートについての内容報告

2022年4月～2022年12月分

2023/3/16 第30回 薬薬連携研修会

トレーシングレポートの内容

2022年4月～2022年12月分



総件数 40件

うち、提案件数は14件

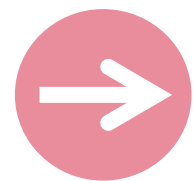
患者の症状に関すること



循環器内科通院中の患者

鎮痛剤を1日3回で服用されていたが、家族より減量希望あり、処方なしとなっていた。

その後、(おそらく、在宅で把握されたのだと思いますが)疼痛コントロール不良であることを聴取され、トレーシングレポートで鎮痛剤 1日2回での再開を提案。



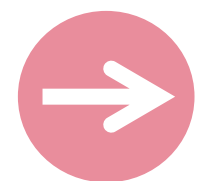
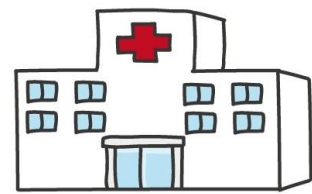
提案通り、鎮痛剤処方となる

病院ではわからなかった情報を、在宅の状況を知ることによって処方提案に活かすことができた事例

使用状況に関すること



吸入薬を2剤使用中の患者。どちらの薬も、1日1回1吸入。
投薬時の聞き取りでは回答があやふやであった。
吸入薬Aは、カプセル製剤であり、「夕食後薬は2種類ある」と申し出があったが、処方上、夕食後薬は1種類のみだった。
内服薬として服用している可能性がある。
吸入薬Bは、1日2回吸入している可能性がある。



吸入薬の合剤を提案し、提案通りの処方へ変更となる。



服用薬剤が増え、家族からの希望もあるため、一包化の提案。
眠剤については、同効薬として一包化できる薬剤へ提案を変更。



提案通り、一包化指示あり、薬剤の変更となる。

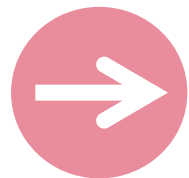
外来での聞き取りにより処方変更につながった事例

他院処方との重複・相互作用に関すること



マツダ病院から 抗アレルギー薬 **A**
他院皮膚科から 抗アレルギー薬 **B**

患者本人は、アレルギー薬の重複に関して認識しているため、服用していない。
マツダ病院からの処方薬は、「目の赤みの症状」のため処方されていた。
現在、症状は改善しているようなので、
保険薬局より抗アレルギー薬 **A** の休薬を提案。



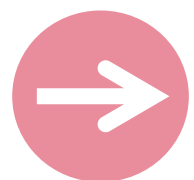
提案通り、処方削除となる

疑義照会をお願いしたい事例

血糖コントロールの事例



自己免疫性肝炎で当院通院中。
低血糖を頻回に起こすインスリン使用中の患者に対する
自己血糖測定器の必要性について提案



外来でのインスリン療養指導の開始
糖尿病療養指導担当の看護師の介入あり
インスリン手技の確認
血糖測定器の導入

概ね良好だが針をすぐ抜く
早く抜くことで液漏れしている

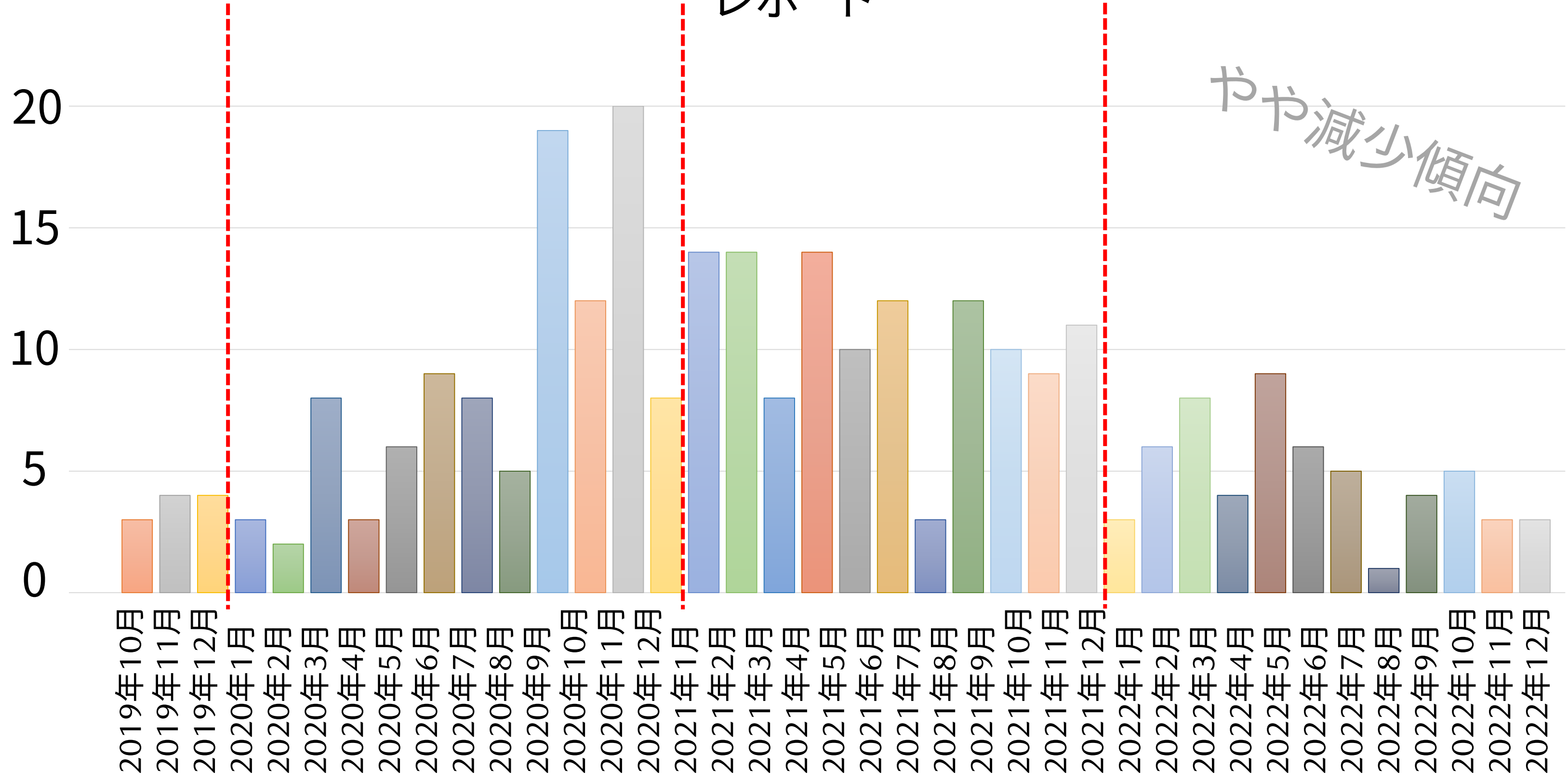
以前にも、血糖測定器を使用したか、ドロップアウト

→ FreeStyle^{リブレ}®開始

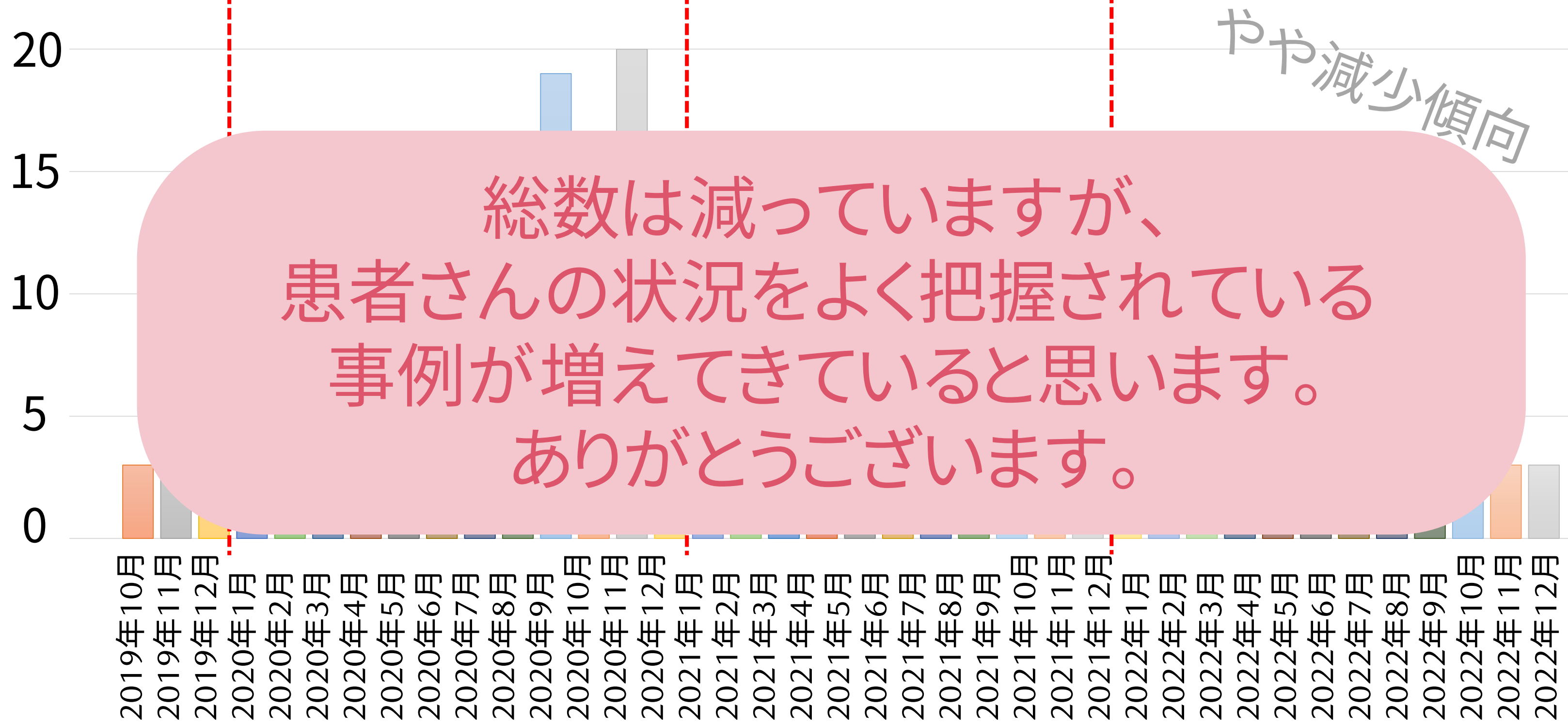
血糖値が『見える化』され、低血糖になる前に
自身で対処できるようになった。

外来に通院するたびに、外来看護師からの療養指導へ
つながっている。

2019年10月からのトレーシングレポート受け入れ推移

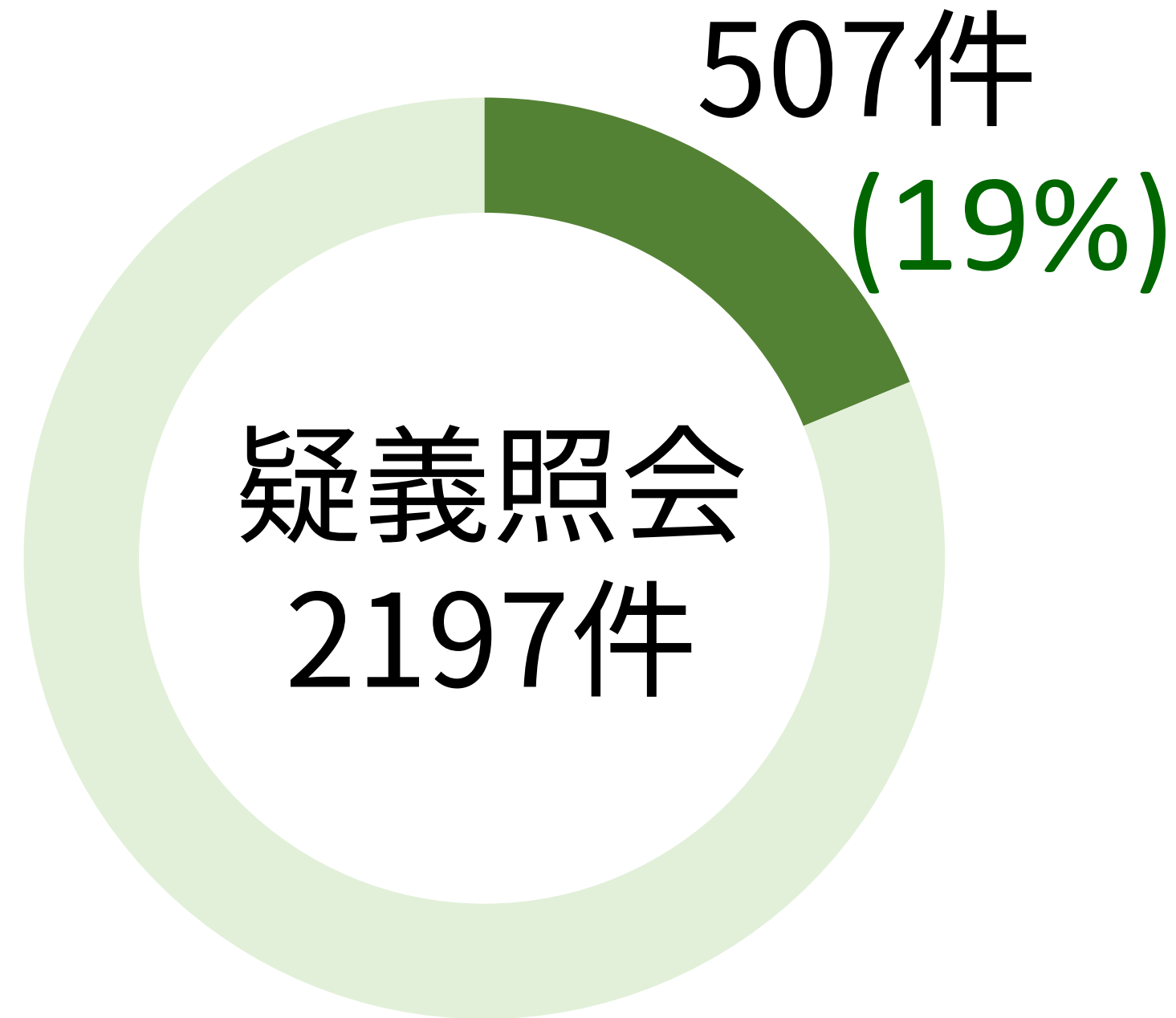


2019年10月からのトレーシングレポート 受け入れ推移



疑義照会の中で残薬調整が占める割合

当院への疑義照会の中で、『**残薬調整**』が最も多いです。



服薬アドヒアランスの向上のために

残薬があることが分かった場合は、患者さんのアドヒアランス向上のための**指導**や**対策の実施**をお願い致します。

トレーニングレポートで教えてください。

- ① 薬が余ってしまう理由
- ② 保険薬局での指導内容
- ③ 対策を実施を行った場合は、その内容
- ④ 患者への配慮が必要な場合 など

当院でできることがあれば対応させて頂きます。

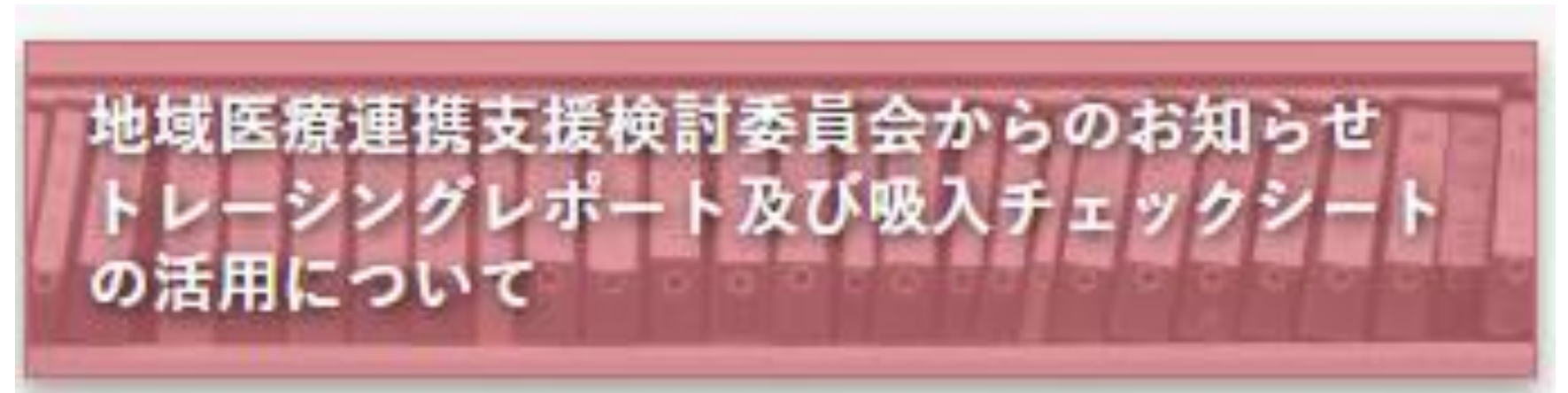
トレーニングレポートの宛先

一般社団法人 広島県病院薬剤師会
Hiroshima Society of Hospital Pharmacists

会員向け情報 研修会カレンダー
会員所屬施設一覧 求人情報(就活情報)
文書アーカイブ DINewsアーカイブ
会誌バックナンバー プレアポイド報告

広島県病院薬剤師会への入退会はこちら
求人情報掲載の申し込み
病院薬剤師への招待
広島県病院薬剤師会について各種規定および情報公開
広島県病院薬剤師会会費について

地域医療連携支援検討委員会からのお知らせ
トレーニングレポート及び吸入チェックシートの活用について



トレーニングレポートの宛先は
広島県病院薬剤師会のホームページ



をご参照ください。



ありがとうございました